

キャラクター名  
山上アメ子

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ブラム=ストーカー		ワークス	ゼノスレネゲイドビーイング	カヴァー	田舎娘
	サラマングー		年齢	見た目は20歳前後	性別	見た目は女性
オプション	覚醒	償い	衝動	闘争	初期侵食率	47 %
出自	旧き記憶		経験	死と再生	邂逅	旧き友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2		0			2	行動値	11
感覚	3		0		1	4	(非装備時)	11
精神	3		0			3	戦闘移動	16
社会	0	1	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ゼノス	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
退化の書	
貴種の接吻	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
神格	P	N		
都築京香	P 友情	N 脅威		
生贄の巫女	P 慈愛	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果:								
オリジン:ヒューマン	1							
効果:								
極大消滅波	4	4D	イニシア				120	
効果:								
ハイブリーディング	1	6	オート		自身		120	
効果:								
原初の虚:アナザーセルフ	1	4D+2	オート		自身		120	
効果:								
原初の灰:闘争の渦	1	7	オート		単体		120	
効果:								
原初の赤:アドヴァイス	3	5	メジャー		単体			
効果:								
原初の白:要の陣形	1	6	オート		-		80	
効果:								
禁じられし業	1	3	オート					
効果:								
異形の痕	1		オート					
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とある山間部にある村で信仰されていた神様と、その神様に捧げられた生贄の少女が混ざり合った存在。  
元々は村で信仰されていたレネゲイドビーイング未満の存在。  
150年ほど前に、日照りが続き村が滅びかけた際、当時巫女だった少女が生贄としてささげられた。  
それを不憫に思った神様が、少女を助けようと少女へ自分の力を分け与えた。  
その少女はオーヴァードで、二人のレネゲイドが混ざり合い、今の存在となった。  
ただ、少女は既に死亡しており、彼女の体内に残っていたレネゲイドウィルスを取り込んだために、レネゲイドビーイング(未)として一人と一柱の意識と記憶が混ざった状態になった。  
その後のレネゲイド拡散の事件によりレネゲイドビーイングとして実体を持つに至る。  
妾かたちは少女のものだが、意識の主体はほぼ神様。少女の記憶や知識も引き出せるが”他人の記憶を見ている”感覚のようだ。

“神様”は村では「ヤマガミ様」と呼ばれており、また巫女の少女は「雨の巫女」と呼ばれていた。  
現在の名前はそれをほぼそのまま名乗っている。

なお、少女が生贄に捧げられたことはあまり関係なく雨は降り、降り降り続け、村は土砂崩れにより半壊の憂き目にあった。  
これを「ヤマガミ様の怒り」と残った村の人々は呼び、以降生贄は禁止され、「ヤマガミ様」はより恐れ敬われた。  
実際には当時、神様はなんら関与していなかったが、人々が「ヤマガミ様の怒り(力)」だと信仰を深めたことにより、実際に神様と呼ばれたそのレネゲイドビーイングは雨と災害を操ることができるようになった。  
その力は現在でも健在。寧ろ、レネゲイド拡散により実体を持つほどのレネゲイドビーイングになったことにより、より強力になっている。

人間たちのことは可愛いやつらだと思っている。  
生贄の儀式などは愚かだなぁとは思っていたが、怒りなどは特に感じておらず、ただ生贄にされてしまった少女に対しては、悪いなぁと思っていた。  
別に自分は生贄など求めてもないし、生贄にされても雨降らせることもしてやれないのに、自分のために犠牲になって悪いことしたな、的な感覚。